

学力向上に向けた取組

函館市立昭和小学校

1 課題

基礎的・基本的な知識技能の確かな定着
望ましい学習態度の育成

2 課題解決の具体策

4つの学習ステージによる目標の明確化と、評価の2期制的確な児童の見取り
CRT 検査・学力学習状況調査の分析による、指導の充実
学習の約束等、学習常規の再確認

3 取り組みの概要

について

4つの学習ステージにより、学習の見通し・目的意識を明確にし、長い学習期間にリズムを持たせる。
がちりステージ(4・5月)...仲間づくりやルール作りをし、学習・生活両面における基本・基本の力をつける。
わくわくステージ(6～9月)...体験的活動を意識した取り組みで、そこで得た知識・技能を様々な場面で活用できるようにする。
じっくりステージ(10～1月)...これまでの学習・経験をもとに、課題達成に向けじっくり考えたり表現したりする。
しっかりステージ(1～3月)...1年間の学びの成果をしっかりとまとめ、次の学年への意欲を持つ。
・夏季休業を「わくわくステージ」の学習の継続期間としてとらえ、休業中における学習開放日を設定。(5日間のべ130名程度の参加)
前期・後期という長いスパンでの児童の変容を見取り、指導に生かす。
・評価の2期制 ・ステージごとの振り返りカード ・その場その場での見取りの積み重ね ・年2回の児童アンケートの実施

について

6年学力学習状況調査の他、2年～5年のCRT検査を実施。内容の分析による課題の明確化。
・校内研修との関連を図り、本校において必要とされる基礎・基本の明確化と、それに基づいた国語を窓口とした授業研究の取り組み。
・児童の実態を踏まえ、言語活動に重点を置いた、全校足並みをそろえての朝学習の取組みや、朝学習における読書活動の取組み。

について

授業研究とともに、校内研修における学習に向かう構えとしての規律や学習常規の再構築。
・現在、学校として一本の筋が通った、学年の発達段階に応じた形を作成中。(担任の裁量でばらつきが出ないように)

その他

TT・専科・合同学習・コース別学習等、指導方法の工夫。
各教科・領域における明確な食育の位置づけと、栄養教諭を中心とした食育指導の実施。
家庭学習の習慣化に向けた学校としての考え方の明確化と家庭への協力依頼。

4 成果と課題

学習のサイクルが定着してきたことにより、見通しと目的意識をしっかりとって学習できる児童が増えてきている。
各種調査や児童の変容の見取りを確かなものにするすることで、本校の課題が明らかとなり、各段階における取り組みを強化することができた。

成果があげられた部分も含め、基礎基本の定着や学習態度の形成は、長期的展望に立ち、より確実なものとする必要がある。今後も指導と評価の一体化を図りながら、学校としてぶれがないように継続して取り組む必要がある。
家庭学習を含め、生活習慣・学習習慣形成に向け、家庭との連携をより一層深めていく必要がある。